

吹割溪谷

沼田市中心部から北東へ車で 30 分ほど行ったところにある吹割溪谷は、片品川の両岸にそびえ立つ岩肌がむき出しになった険しい溪谷である。この深い溪谷には吹割の滝をはじめとするいくつかの滝がある。吹割の滝は高さ 7 メートルもある滝で、数千年にわたる川の流れによってできた岩の割れ目に落ち込んでいる。滝の周辺には岩を削る円流に小石が巻き込まれてできた巨大な甕穴がいくつかあり、切り立った崖沿いには、自然が作り出した能面のような崖もある。川沿いの舗装された遊歩道で溪谷を散策することができ、ところどころにある岩の岸辺を歩くこともできる。

吹割溪谷が最もドラマチックに見えるのは 4 月中旬から 5 月上旬にかけての時期で、付近の山々からの雪解け水が川を満たし、水が滝を越えて、川岸の新緑や咲き誇る山野草を通り過ぎる。溪谷は秋にも輝き、季節の鮮やかな紅葉が暗い岩と水のコントラストを際立たせる。

10 月下旬から 11 月にかけて沼田に降る長雨の後には、赤やオレンジのモミジの葉が滝の下に集まり、色とりどりの絨毯を敷き詰めることもある。冬には雪に覆われた静かな風景を見ることができ、この時期、川沿いの遊歩道は閉鎖されるため、冬の景色は六角堂から眺めるのがベストだ。六角堂は川から高い位置にある見晴らし台で、暖かい季節には植物に覆われてあまり見えない。